



連載を終えて

日本一の土木建造物の魅力を、ただ紹介するだけでなく、学生が体を張って何かを「体験」することで、最大限引き出し、伝えたいと始まった「学生が行く 今月の土木日本一」。12回にわたってさまざまな日本一を紹介してきた。北は北海道「青函トンネル」から南は沖縄「やんばる海水揚水発電所」まで、実にバラエティー豊かな土木日本一を紹介できたように思う。学生編集委員の「体験」を通して一味違った魅力を感じていただけだろうか。

現場を見る機会の少ない私たち学生編集委員にとって、取材は学会誌をつくるための重要な任務であり、また貴重な現場見学でもあった。どのようにすれば自分たちが感じた感動や興奮が伝えられるのかを日々考え、学生らしい、学生だからこそ書ける記事を目指した1年であった。

土木建造物に「土木」のすばらしさを感じることはしばしばあるが、本連載での「体験」を通して、それらをつくりあげた人びとの思いに触れ、その偉大さを再認識させられたように思う。たとえば「青函トンネル」の取材において、普段目にするのではない、トンネルの裏側から、人びとの努力やさまざまな苦労を感じ、とても感動した。鉄道が走るまっすぐな

トンネルとは異なり、曲がりくねった箇所や出水により埋め戻したあとなど、日本の大工事のすさまじさを身を持って体感し、貫通地点では、なんとも言えない空気を感じたことを今でも鮮明に覚えている。実物を目の当たりにしたときの感動や、「体験」中に感じた興奮を読者の方々に共感していただけたとすればこのうえない喜びである。

最後に、快く取材を受けてくださった関係者の方々、取材交渉にご尽力いただいた皆様にこの場を借りて深く御礼申し上げます。
(澁谷 容子)

編集企画主査 澁谷 容子
編集企画担当 学生班

学生が行く今月の土木日本一 連載一覧

第1回	青函トンネル
第2回	小樽港北防波堤
第3回	明石海峡大橋
第4回	沖縄やんばる海水揚水発電所
第5回	大橋ジャンクション
第6回	龍野西SA
第7回	東京湾アクアトンネル
第8回	JR東京駅
第9回	羽田(東京国際)空港
第10回	高山祭りミュージアム
第11回	谷瀬のつり橋
第12回	佐久間ダム